

國學院大學学術情報リポジトリ「K-RAIN」

公開研究会「荷田春満の国学と国学史学説の再検討」

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-07-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002000545

公開研究会「荷田春満の国学と国学史学説の再検討」

2018年11月18日、科学研究費助成事業・基盤研究（B）「近世における前期国学のネットワーク形成と文化・社会の展開に関する学際的研究」（代表 根岸茂夫）の主催、日本文化研究所の研究事業「〔國學院大學 国学研究プラットフォーム〕の展開と国学史像の再構築」の共催により、公開研究会「荷田春満の国学と国学史学説の再検討」が開催された。

上記の科研事業は荷田春満を中心として近世国学の発生と展開の過程に関する諸問題を検討することを趣旨とする。2018年度は同事業の最終年度に当たるため、東羽倉家史料の悉皆調査・研究を通して得た研究成果を広く公開し、学界に寄与することを目指し、今回の研究会を開催することとなった。

また、この研究会の趣旨は国学学説史の再検討を目標の一つに掲げる日本文化研究所の上記研究事業と重なるため、両者の情報共有から得られる相乗効果を期し、同事業の共催として開催することになった。

当日の各報告の報告者と報告題目は以下の通りである。

- ・根岸茂夫氏（國學院大學文学部教授／日本近世史）「近世における前期国学のネットワーク形成」
- ・石岡康子氏（日本近世史）「懷徳堂学主・中井甕庵と荷田春満」
- ・松本久史氏（國學院大學神道文化学部教授／神道史）「国学研究史上の荷田春満」

- ・一戸渉氏（慶応義塾大学斯道文庫准教授／日本近世文学）「大西親盛の文芸ネットワーク—自筆歌稿『松葉集』を中心に—」

- ・早乙女牧人氏（東海大学非常勤講師／日本文学）「享保期における荷田派の和歌稽古会」

- ・中村明裕氏（日本語学）「国語学史上の荷田春満と『日本音義』」

- ・宮部香織氏（亜細亜大学非常勤講師／日本法制史）「幕末明治期の令注釈書における荷田在満説の受容」

なお、司会は渡邊卓氏（國學院大學研究開発推進機構助教／日本文学）が務めた。

いずれの報告も堅実な一次資料の調査に基づき、荷田春満をめぐる人的・知的ネットワークを明らかにするものとなった。これは21世紀以降に隆盛した実証的な国学研究の一つの到達点を指し示すものであろう。このような成果をふまえ、日本文化研究所の研究事業でも国学の学説史の再検討による新たな国学史像の探究を進めていくことになる。

今回の研究会での報告に基づき各報告者が執筆した論文は、研究成果報告書『近世における前期国学のネットワーク形成と文化・社会の展開に関する学際的研究』に収められている。この報告書のPDFはウェブ上でも公開される予定である。

（齋藤公太）